

3月号 香春町協力隊だより



～全国の協力隊と情報交換

& トライアルステイ準備着々～
東京の虎ノ門ヒルズで2月4日(日)に行われた「第4回地域おこし協力隊全国サミット」に参加してきました。全国の協力隊員約1000名以上が集まり、物品の販売やワークショップ、交流会などを行い、全国のさまざまな取り組みをみて、情報交換をしてきました。

2月13日(火)には、県庁の自治体職員向けの移住政策勉強会にゲ



ムライ ユウキ 村井勇輝隊員 採銅所4区

ストスピーカーとして登壇し、各自治体の担当者約40人の前で香春町の取り組みを発表してきました。

3月から「香春町トライアルステイ」で滞在する2組目の参加者：秦忍^{はたしのぶ}さんの受け入れ準備も進めています。



▲トライアルステイ参加予定の秦^{はたしのぶ}さん。



空き家活用担当


テシマ ジュンヤ 手島順也隊員 下高野1区

～里山復活への第一歩

竹林整備の1年～
空き家バンクの運営の他に、業務時間外に竹林整備の活動を行っています。昨年の夏からこつこつと枯れ竹を撤去したり、チェーンソーを使い竹を伐採したりして整備に取り組んでおり、少しずつ元の山の姿が戻ってきています。

また、「ミニ門松作り」や「竹のうつわ作り」など3回、「竹」に関するイベントを開催。参加者の皆さんに自分たちの活動や竹林の現状などを知ってもらっています。

合わせて、竹害を解決する根本的な方法を模索。全国の事例や現場での活動からその答えを探す年にしたいと思っています。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家・空き地バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

～冬から春に向かう香春町

その様子を写真に収める～
冬の厳しい寒さから少しずつ春の陽気に向かっている香春町の様子を先月は取材しました。

2月の中旬から3月の上旬がシーズンという椎茸の菌打ちについて話を聞き、魅力的な里山の暮らしについて発信したり、今が旬の菜花採集の様子を撮影したりと春に一步步近づいている町の様子・暮らしの様子を

取材してまわりました。

また、今月にオープン予定のオルレコースも実際に歩き、魅力的な場所などを取材しました。



▲クヌギの木に椎茸の菌を打ち込んでいくイベント参加者。



移住希望者への情報発信担当

ハマダ ヨシタカ 濱田雄飛隊員 本町区

大学生が引き立てる里山の暮らし



使用されない期間が長い施設を有効活用して、新商品と”楽しい”を創り出す。



竹害の現状を多くの人に知ってもらい、竹林を活用したイベントで”楽しい”を創り出す。



耕作放棄地を利用してたくさんの人に農業を経験してもらい、農業の”楽しい”を創り出す。

「地域課題お助けプロジェクト」とは？

堀くんが香春町滞在中に知り合った、地域の課題解決に取り組む3人にスポットを当て、情報発信やクラウドファンディングを通じた寄付を募ることで支援する。



「地域課題お助けプロジェクト」の詳細は左のQRコードまたは下のURLから検索を
<http://mujimudai.com/2018/02/25/otasukeproject/>

訂正 2月号の「かわら農業塾×キムチの素作り」の記事で農業塾についての問い合わせ先電話番号が「32-8046」とあるのは「32-8406」の誤りでした。お詫びして訂正します。

昨年、香春町で1ヶ月の移住体験を行い、現在も滞在している大学生、堀くん(右)が企画する地域課題解決プロジェクト。



移住体験で訪れた香春町と見学
 に訪れた佐賀県で、地域の課題・
 課題の多くを目にしました。
 しかし、その問題が知られてい
 ない。しっかりと現状が伝わって
 いない。僕の目にはそのように見
 えませんでした。そんな現実を目の当た
 りにし、自分にできることはない
 かと考えました。
 僕が見てきた3つの問題(休眠
 施設、竹害、耕作放棄地)につい
 て、それぞれの問題の実情を多く
 の人に知ってもらうために、少額
 のクラウドファンディングを実施
 します。地域の課題に向き合いな
 がら、わくわくするものを作ろう
 としている人々の姿を多くの人に
 知ってもらいたいです。
 地域課題に向き合っている人の
 姿を見て、みなさんにできること
 を考えていただく機会になったら
 幸いです。
 (文章:堀基晴)

